

第7回土地家屋調査士ガイダンス報告(名古屋)

日 時：令和6年3月24日（日）13時30分から16時30分

会 場：ウインクあいち 11階1103会議室

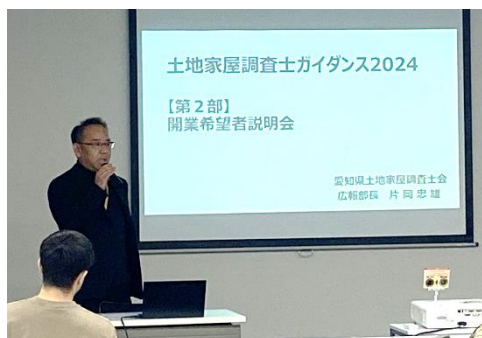


3月24日にウインクあいちで開催された第7回土地家屋調査士ガイダンスに出席しました。これは日本土地家屋調査士連合会中部ブロック協議会と東京法経学院が共催する、土地家屋調査士の資格取得や開業を目指す方を対象とした催しです。第7回目となる今回は合計30名の参加者を迎え、第1部から第3部までの希望する説明会に参加をする、というスタイルで行われました。

まず梅村中部ブロック協議会会長（愛知会会長）のあいさつ、次に東京法経学院立石社長のあいさつと続き、第1部「資格取得希望者への説明会」が始まりました。講師は三重会会員であり東京法経学院講師でもある小林会員です。現役の人気講師ということもあり、とても分かりやすい説明と言葉遣いで、すでに有資格者である私でさえ試験勉強を始めてしまいそうになるほどの、熱気あふれる45分間でした。



梅村会長 あいさつ



第2部説明会 片岡広報部長

第2部「開業希望者への説明会」の講師は、愛知会広報部長の片岡会員です。資格取得後から開業まで、必要となる物品やおおよその費用など具体的な内容を説明していました。参加者は問いかけに答えたり、説明に対して真剣にうなづいたり、会場の後方から見てみると、講師と参加者の一体感が感じられて、調査士開業に対する参加者のとても前向きな姿勢が感じられました。

第3部「個別相談会」はマンツーマン形式で、私たち調査士は相談員として、それぞれ分かれて相談に対応しました。参加者13名に対し、相談員8名での対応となったため、残りの参加者にはしばらく待つていただくことになりました。私が担当した2名は共に直近の調査士試験に合格し、開業へ向けての準備をしている方でした。相談内容を書いて持参したメモや、私のアドバイスをそのメモに丁寧な文字で書きこんでいく姿を見て、参加者の真剣さが伝わってきました。相談終了後、すっきりした表情で会場を後にする参加者に、少しは力になれたとの思いでホッと胸をなでおろしつつ、調査士登録者を増やすにはこのような開業に対するサポートも大切なんだと感じました。

（広報部部員 岡地 裕治）